

参加無料

主催 早稲田大学人間総合研究センター

早稲田大学人間科学学術院 生命科学系シンポジウム

ライフサイエンスにおける研究成果の社会実装
-産学連携から大学発ベンチャー設立、そしてその先へ-

2022年11月4日（金）13:00～16:20
ハイブリッド開催（現地 & Zoomウェビナー）
早稲田大学所沢キャンパス 100号館第1会議室



会場アクセス

12:30	受付・開場
13:00	 早稲田大学 人間科学学術院 教授 千葉卓哉 開会あいさつ
13:05	 株式会社三菱総合研究所 経営イノベーション本部 コンサルタント 竹村穂乃 SFを実現する仕事 “ライフサイエンスにおける研究成果の社会実装”の概観
13:35	 早稲田大学大学院 人間科学研究科 博士前期課程 吉井幸 カロリー制限による抗老化機構を活用して人々の健康長寿に貢献する
13:45	 早稲田大学 人間科学学術院 教授 大須理英子 社会実装への障壁-基礎研究の立場から-
14:15	 早稲田大学大学院 人間科学研究科 博士後期課程 Wang Jinyun 食品成分によるmTORC1非依存性オートファジー活性化機構の解明
14:25	休憩
14:30	 株式会社坪田ラボ CEO 坪田一男 理系のための第4の道、ベンチャー！
15:00	 早稲田大学大学院 人間科学研究科 博士後期課程 城宝大輔 食品と認知機能をもとにした認知症発症機構と予防戦略
15:10	 株式会社ジーンクエスト 代表取締役 高橋祥子 パーソナルゲノムが拓く未来
15:40	休憩
15:45	パネルディスカッション パネリスト：坪田一男、高橋祥子、竹村穂乃、大須理英子 モデレーター：千葉卓哉
16:15	早稲田大学 人間科学学術院 教授 千葉卓哉 閉会あいさつ
16:20	閉会

参加お申込

こちらのQRコードから参加登録をお願いします。Zoomウェビナーの招待リンクは、参加登録後にメールでお知らせします。参加費は無料です。

申込受付期間：当日参加もOK



本シンポジウムについてのお問い合わせ先はこちら

早稲田大学人間科学学術院
千葉卓哉
takuya@waseda.jp
〒359-1192
埼玉県所沢市三ヶ島2-579-15

©2020 WASEDA University

令和4年度（2022年度） 早稲田大学人間総合研究センター主催

早稲田大学人間科学学術院 生命科学系シンポジウム

ライフサイエンスにおける研究成果の社会実装

-産学連携から大学発ベンチャー設立、そしてその先へ-

1. 開催日：11月4日（金）13：00～16：20
2. 開催形式：ハイブリッド開催（現地参加、Zoom ウェビナー）
3. 場所：早稲田大学所沢キャンパス 100号館 第1会議室
4. 参加費：無料
5. 世話人：千葉 卓哉（早稲田大学 人間科学学術院 教授）
連絡先：takuya@waseda.jp
6. プログラム

13：00～13：05

開会のあいさつ

千葉 卓哉（早稲田大学 人間科学学術院 教授）

13：05～13：35

「SFを実現する仕事 “ライフサイエンスにおける研究成果の社会実装”の概観」
竹村 毬乃（株式会社三菱総合研究所 経営イノベーション本部 コンサルタント）

13：35～13：45

「カロリー制限による抗老化機構を活用して人々の健康長寿に貢献する」
吉井 幸（早稲田大学大学院 人間科学研究科 博士前期課程）

13：45～14：15

「社会実装への障壁-基礎研究の立場から-」
大須 理英子（早稲田大学 人間科学学術院 教授）

14：15～14：25

「食品成分による mTORC1 非依存性オートファジー活性化機構の解明」
Wang Jinyun（早稲田大学大学院 人間科学研究科 博士後期課程）

14：25～14：30

休憩

14：30～15：00

「理系のための第4の道、ベンチャー！」

坪田 一男（株式会社坪田ラボ CEO）

15：00～15：10

「食品と認知機能をもとにした認知症発症機構と予防戦略」

城宝 大輔（早稲田大学大学院 人間科学研究科 博士後期課程）

15：10～15：40

「パーソナルゲノムが拓く未来」

高橋 祥子（株式会社ジーンクエスト 代表取締役）

15：40～15：45

休憩

15：45～16：15

「パネルディスカッション」

パネリスト：

坪田 一男（株式会社坪田ラボ CEO）

高橋 祥子（株式会社ジーンクエスト 代表取締役）

竹村 毬乃（株式会社三菱総合研究所 経営イノベーション本部 コンサルタント）

大須 理英子（早稲田大学 人間科学学術院 教授）

モデレーター：千葉 卓哉（早稲田大学 人間科学学術院 教授）

16：15～16：20

閉会のあいさつ

千葉 卓哉（早稲田大学 人間科学学術院 教授）

SF を実現する仕事 “ライフサイエンスにおける研究成果の社会実装”の概観

竹村 毬乃

株式会社三菱総合研究所
経営イノベーション本部 コンサルタント



研究前は SF(Science Fiction)だった仮説を証明し、現実に行えることを示し、多くの人に新しい生き方を届ける。人はこのプロセスを繰り返して今の社会を作り上げてきました。本講演ではライフサイエンス領域の研究成果の社会実装の実態を、医薬品・医療機器・ヘルスケアの3領域に分けて概説します。また演者のキャリアパスをご紹介します、大学での学びを活かして企業で働くイメージを提供します。

■ご略歴

2016年 京都大学理学部生物科学科卒業

2018年 京都大学医学研究科医科学専攻修士課程修了

同年 株式会社三菱総合研究所入社、主に医療・ヘルスケアに関する企業コンサルティング業務に従事。

社会実装への障壁-基礎研究の立場から-

大須 理英子

早稲田大学人間科学学術院
教授



自分の研究が社会実装されれば、それは大変嬉しいことです。一方で、社会実装に興味を持っていても、基礎研究に携わっている人たちの多くは、社会実装は自分の役割ではない、もっと得意な人に任せたい、と思っているのではないかと思います。ニューロリハビリテーション・ニューロマーケティングの分野で、基礎研究と臨床研究・応用研究の間を行き来してきた中で感じたことをご紹介します。社会実装にあたっての障壁と将来の方向性について議論したいと思います。

■ ご略歴

1991年 京都大学文学部卒業

1996年 博士(文学)。ERATO 川人学習動態脳プロジェクト 研究員、ATR 脳情報研究所運動制御・機能回復研究室 室長、ニールセン・カンパニー合同会社 コンシューマーニューロサイエンス ディレクター等を経て現職。

理系のための第4の道、ベンチャー！

坪田 一男
株式会社坪田ラボ
CEO



アカデミアのキャリアアップは、1) 教育者、2) 研究者、3) 技術者（医者）という3つが基本だろう。私もそう信じていたが、36歳で5人目の子供ができた時、このままでは子供たちを豊かに育てられないと知り、新たな挑戦の道がひらけた。それがベンチャー（起業）である。

ベンチャーの道とは、研究成果を“社会実装”してイノベーションを起こし、暮らしをよくする試みである。その実現には経営を学ぶことが必要だ。医学部には「医者は身を粉にして患者様に尽くすべきで、商売をしてはいけない」という考え方がある。大切にすべき姿勢だが、結果日本では医療系ベンチャーが育たなくなった。イノベーションは雇用を生み、技術革新を起こし、社会を豊かにする。

日本社会にも発想のシフトが必要だ。

本講演を通じて社会実装の重要性と方法を学んでほしい。

■ 略歴

- 1980年 慶應義塾大学医学部卒業
- 1985年 日米の医師免許取得後ハーバード大学角膜クリニカルフェロー修了
- 1998年 東京歯科大学眼科教授
- 2004年 母校慶應義塾大学医学部眼科教授に就任。日本のアイバンクにアメリカ式のシステムを導入や幹細胞移植による再生治療などの実績で日本全国から患者の紹介を得た。医学部ベストティーチャーズアワード複数回受賞、研究はドライアイ、近視を中心にH-INDEX125を超える。
- 2015年 (株)坪田ラボを創業
- 2017年 慶應義塾大学大学院経営管理研究科 EMBA(Executive MBA)取得
- 2019年 MIT スローン経営大学院起業家精神開発プログラム修了
- 2020年 ハーバードビジネススクール ヘルスケアデリバリー戦略修了
- 2022年 坪田ラボを東証グロース市場に上場させ世界の近視、ドライアイ、老眼の課題解決のため切磋琢磨している。

パーソナルゲノムが拓く未来



高橋 祥子
株式会社ジーンクエスト
代表取締役

ヒトの全ゲノム解析が完了したことで、ゲノム情報を活用した研究が可能になり、その成果が多数報告されている。またゲノム解析技術の発展により、一般個人向けにゲノム解析を提供し、個人が自らのゲノム情報を持つというサービスが登場している。ジーンクエストは、日本で初めて個人向けの大規模ゲノム解析サービスを提供してきた企業である。博士課程の在籍中にパーソナルゲノムサービスのベンチャーを立ち上げた経験談や課題との乗り越え方、また提供する中で見えてきた、ビッグデータが生命科学・医療へ引き起こすイノベーションについて、実際の取組み事例や、生命科学のビッグデータを活用した先に待っている未来の可能性について紹介する。

■ ご略歴

2013年6月 東京大学大学院農学生命科学研究科博士課程在籍中に、株式会社ジーンクエストを起業。ジーンクエスト代表取締役。ユーグレナ執行役員。東北大学特任教授。